

S.G. Report

平成30年度 1年夏季研修 JICA九州

今年度は1年生全員を対象に夏季研修の希望を取り、154名の生徒がそれぞれ希望するところで1泊2日～2泊3日の研修を行いました。まずは8月1日（水）～3日（金）に46名の生徒が、8月6日（月）～8日（水）に22名の生徒がJICA九州(Japan International Cooperation Agency)へ以下の日程で研修に行きました。

【研修日程】

≪1日目≫

- 13:30～開校式
- 13:40～研修① JICA九州の概要説明など(企業見学)
- 14:15～研修② 国際理解教育ワークショップ
- 15:45～研修③ 留学生とのグループ交流Ⅰ
*留学生の国の紹介、大学生活紹介、課題研究に関する質問など
- 16:45～研修④ 留学生とのグループ交流Ⅱ
*課題研修に関する質問など
- 18:15～宿泊施設へ移動、夕食、入浴
- 20:00～研修⑤ 1日の振り返り、翌日の準備



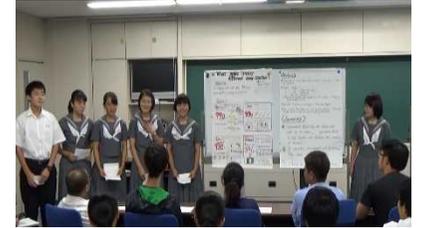
≪2日目≫

- 9:30～研修⑥ 留学生とのディスカッションⅠ(留学生が各グループにつきサポート)
*発表に向けてプレゼンの仕方等、留学生にアドバイスをもらいながら準備
- 10:30～研修⑦ 留学生とのディスカッションⅡ
*グループテーマに沿ってディスカッション
- 11:30～昼食
- 13:00～研修⑧ これまでのディスカッションやインタビューのまとめ方についてのワークショップ
- 15:15～研修⑨ 留学生とのディスカッションⅢ・まとめ(留学生がサポート)
*グループごとに交流で学んだ内容をまとめ、翌日の発表の準備を行う。留学生はいずれかのグループに固定で英語のサポートに当たる
- 18:00～宿泊施設へ移動、夕食、入浴
- 20:00～研修⑩ 1日の振り返り、翌日の準備



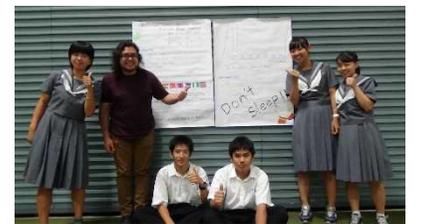
≪3日目≫

- 8:15～朝食、移動
- 9:30～研修⑪ グループによる英語プレゼンテーション発表
*各グループが研究テーマに沿った発表
(発表7分+質疑応答2分)
- 11:30～昼食
- 12:30～閉校式



【生徒感想】(おおむね原文のまま)

●私はこの研修を通して、多面的に考えることができるようになったと思う。3日間、ガーナやフィリピン、モンゴル、トルコなど様々な国の留学生と班で出した1つの課題について議論することで、どのようにすればいいか、外国ではどのような政策があるのか学ぶことができた。特に様々な国の留学生と話せたことは貴重な体験だった。さらにJICA九州に泊まりに来ていた外国の方とも話せたので、とても貴重な体験ができた。私たちの班のテーマは日本の少子化。このテーマについて留学生はとても納得していた。「どうして減るのか」「どうして減ってはいけないのか」「減らさないためにはどうすべきか」という3つのステップで討論した。私が一番印象に残っているのは、「減らさないためにはどうすべきか」について討論したことだ。私は全く検討がつかなかったが、留学生はたくさんの国がしている政策について知っていたので驚いた。例えばロシアでは、ある月に子供を産めば、車や冷蔵庫、家が一軒建てられるようなお金がもらえるそうだ。トルコでは、ある年までに結婚すればお金がもらえ、スウェーデンでは、子供が生まれてから480日間は育児休暇をとれ、給料の80%がもらえるそうだ。調べれば調べるほどもっとたくさんの面白いデータを知れると思った。日本人だけの考えや意見だけでなく、他国の人々の考えや意見を取り入れることが大事だと思った。グローバル化の世の中で、今後は外国の意見や考えを取り入れていくのは当たり前になっていくと思う。そういう社会で生きていける人間になるためにもっと積極的に英語を使って外国の人と話し、話す機会があればその機会を無駄にせず、有効に活用していきたいと思う。この3日間で外国について知ることができ本当に楽しく、充実していたと思う。異文化と関わることで考え方も変わり、視野を広げることができた。これからの生活に活かしていきたい。(10組 女子)



●今回2泊3日のJICA研修に行ってみて、自分の中でたくさんの事が変わった。まずは、JICAという組織について。これまでJICAと言葉では聞いたことがあったけど、どんな事を行っているのか知らず、紹介映像を見て、海外の貧しい国への支援をしている事を知り、すごく自分は将来このようなことをしたいと強く思うようになった。また、日本は顔の見える支援や、自立させる事を大きな目的としていてすごく共感できた。研修最初の自己紹介の時はかしまったような固い英語で相手に伝わらなかったが、何回か話しているうちに簡単な英語でも文法がおかしくても、しっかり要点をとらえて、大きな声で話

ず方が伝わるということを知った。しかし課題も多く見つかった。それはリスニングの能力の欠如と単語力不足だ。リスニングは何日か聞いただけでは理解することは難しいと感じ、JICA から帰ってからラジカセで英文を聞いている。単語は英文をリスニングできても意味が分かってないという意味がないので隙間時間を見つけて、単語帳を開くようにしている。外国の方々がたくさん話をしてみても、どの国にも解決すべき問題があることを学ぶことができた。そして何より、あれだけたくさんの国籍の人がいたにもかかわらず、みんな英語というツールを利用して会話をしていることが何よりも発見と驚きで英語を話せるということは、これからの世界を生きていく上で必要なものだと改めて確認することができた。(1組 男子)



●今回の研修を通して積極性の大切さを実感することができた。1日目の留学生とのグループ研修の時、英語を話すことに対して自信がなく、留学生から質問をされても答えることができなかった。私の班の人は留学生とプレゼンテーションのテーマについて意見を出したり、自分から留学生に話しかけたりしてとても楽しそうな様子、私はとても悔しく自分の行動を反省した。二日目は自分から留学生の方に話かけていこうと研修に臨んだ。自分の意見を伝えたいと思い使える英語で思いきって留学生に話しかけてみると、私の意見を分かってくださってとてもうれしかった。私たちの班のテーマは“人の仕事とAIとの関係”で内容が難しかった。留学生の方がプレゼンテーションの構成やポスターの書き方などたくさんの事を教えてくださった。その中で気づいた事は、留学生の方は私たちの意見を聞くとき理解しようと必ず目を見て話を聞いてくださったので安心感があった。留学生と会話をするためにはネイティブの英語を聞く力が必要だと感じ、普段聞いている英語とは違うと気が付いた。班の人とも信頼関係ができて、それぞれに意見を出し合いながらポスターを作り、発表原稿を考えることができた。3日目のプレゼンテーションの時には留学生の目を見て丁寧に聞き取りやすいように、2日目に学んだことを生かして発表ができ、達成感でいっぱいだった。この研修では違う自分になった。JICA で学んだ積極性でこれからの自分の生き方を変えることができるだろうと思う。何事にも積極的に取り組み、充実した高校生活を送り、自分の夢に向けて頑張りたい。(9組 女子)

●今回の研修は、私にとってとても実りあるものになった。私はこれまでALTの先生以外の外国人の方と英語で話したことが一度もなかったため、初めて留学生の人と会った時は不安でいっぱいだった。聞かれたことにもすぐに答えられず、自分の英語力のなさを痛感した。しかし留学生の方は、「ゆっくりでいいよ」と最後まで私の英語をわかろうとしてくれた。その時、もっともっと英語を普段から使えるようになっておきたい、と研修前よりも強く思った。以前、ホームステイに行かれた先輩に、「いくら英語を勉強しても、その場で実際に使える力がないと意味ない。」と聞いたことがある。こういうことかと思感した。実際に英語で外国人の方と話す機会を探して挑戦しようと思う。このJICA研修では、日本だけでなく、世界で起こっている様々な問題についても深く考えることができた。

あるワークショップで行われた「貿易ゲーム」ではいくつかの班に分かれ、その班と、製品をより多く作るために材料や道具を取引きする、最後にどの班が一番稼いでいるかを競うゲームである。私たちの班ははじめから道具に恵まれていたので、たくさんお金を稼ぐことができた。反対に道具の少ない班はいくら材料を持っていたとしても道具を持たないので製品を作ることができず、0円の班もあった。このゲームの結果を見てこれが実際に世界で起こっている問題なのだ気付いた。先進国と途上国の問題をどうすれば解決へ導けるのかを、私たちなりに考えたが、実践するにはお金や時間がかかってしまうものが多く、よい意見を出すことができなかった。ここまで世界の問題について深く真剣に考えたことがなかったので、世界の問題に目を向けるととてもいい機会になった。2回目のワークショップではこのまま都市開発を進めるべきか、それとも森林伐採を止めるべきかについて、反対派と賛成派に分かれて議論を行った。自分の意見を主張しつつ、相手の主張についても考えなければならぬのでとても難しくスムーズに結論へと導くのにとても時間がかかった。実際の政府や村の人々たちの話し合いは、もっと進めるのが難しいだろうと感じた。これから私たちが話し合いを進めていく際には、それぞれの立場を明らかにして、整理しながら進めていこうと思う。最後に、私たちは「SDGs」について学んだ。これは国連がたてた、持続可能な開発目標の事、17の具体的な指針が示されている。持続可能に、と言われても今まで正直ピンときていなかったため、このように世界共通の目標を知ることができたのは初めてだった。これらがなぜ重要なのか、そして改善するために自分たちができることは何なのかを考えることが、目標を達成するための第一歩になると思う。まずは、世界で起こっている様々な問題について知ることから始めようと思う。(2組 女子)



●研修を受ける前、外国人という存在は自分の中で、遠く近寄りがない存在だった。なぜなら、自分と外国人が会話する時英語が不可欠であるが、その英語が得意ではないからだ。外国人と会話するとなると、きれいな会話をしなければと思い込み、それがプレッシャーや不安となり、身構えてしまい、そのことが外国人を苦手としていた原因だった。しかし今回のSG校外研修でその考えがガラリと変わりました。まず、外国人の方々が僕たちにとっても優しく、肩の力を抜いて話すことができた。英語での会話もそれほど難しく感じず、キチンとした文章でなくとも、言いたいことは相手によく伝わり、コミュニケーションをとることができた。それともう一つ、考えたことがある。話をすることの楽しさだ。今まで話し合っただけを応用紙にまとめる作業はあまり好きではなかったが今回は違った。仲間と考えを深め、よりよい発表のために意見を出し合うことがとても面白く、これからは普段から話し合いを重視してもっと自分の考えを広げていきたいと思った。今後はSG校外研修のような英語に触れる機会があれば進んで挑戦していき自分の英語力を伸ばし、進路実現のためにプラスにしていこうと思った。(10組 男子)

